

看護部
だより

ナースキャッツ

No.2

基礎Ⅱ 宿泊研修

看護師
二年目

3西 小柳津朋子

四月から二年目看護師となり、不安や焦りの中での研修でした。久しぶりに会う同期のメンバーとの会話は、ストレス発散そのものでもあり、仕事や看護についての良い情報交換にもなりました。リラックスできる環境での研修は普段の業務よりも、自分の看護を見つめ直すことができたとように思います。

目標管理の講義から自分の二年目年間計画を考え

ました。日頃簡単に考えている目標ですが、より効果的な行動をするためには、よく考えて目標を立てなければならぬと感じました。

ラベルワークでは、自分の中の看護を振り



H19年5月16~17日 in御前崎
灯台の見える所で研修しました。

返りましたが、伝えたいことが多すぎて上手にまとめることができませんでした。それだけ一年間で得たものは多かったんだと実感しました。

とても良い環境で充実した内容の研修を行え、またサプライズ企画もたくさんあり、学びと共に心から楽しめた研修でした。学びを生かして今後今まで以上に看護を頑張ろうと思えました。

目標への 取り組み



5月27日に看護部役職者が参加し、1年間の部署目標発表会が行われました。国立保健医療科学院経営科学部長の熊川寿郎先生をお招きし、本年度の戦略目標（ビジョン）を実現するための合理的な道筋と詳細な方法を提示するもの）にアドバイスをいただきました。本年度の看護部の活動がスタートしました。

看護部倫理研修

看護部長 松井とも子

看護部では昨年の目標評価の結果、看護職員の倫理教育の不足が浮き彫りとなりました。

そこで、今年度の目標を「看護者一人一人の職業倫理・看護倫理の向上を目指す」とし、研修会を開催しました。三回の研修で参加者総数は339名、出席率は看護職の94%に達しました。看護は、人と人との出会いから始まる仕事であり、出会った人に対して、その人らしく生を全うできるように援助することです。



そこには看護の基本として人に害を与えないこともふくまれます。

最近の病院環境は医療の高度化、患者様の高齢化等に伴い、看護の現場も混沌としています。だからこそ私たち看護者の倫理観を高め、常に暖かな人間的配慮を持って、患者様のそばに寄り添えるようになりたいものです。

今後は各部署での取り組みで倫理観を礎として、さらに自分の行動に責任を持てる看護職員に成長することを望みます。

